

平成30年度久間田福社会事業報告

1. くまだ保育園事業報告

(1) 子どもの最善の利益を求める保育を

① 異年齢児保育

例年通り、年長児と年中児の異年齢児保育を実施しています。室内の常設コーナー遊び、屋外の自由遊び、リズムあそび、英語あそびなど、異年齢で遊んでいます。

給食やおやつでは、年長児と年中児は食事の時間帯になると三々五々集まり、自由にテーブルを選び、子ども同士で会話を楽しんでいます。帰りの会でも、年長児と年中児で、今日あったことを話し合ったり、発表し合ったりしています。

異年齢児保育の中で、遊び方の伝承、あこがれ、いたわり、譲り合うなどの気持ちが育まれています。

② 職員間での情報共有

子どもに対する理解を職員間で共通とするため、毎日のミーティングや保育中の連絡、ミーティング議事録などを通じて情報共有を行ってきました。職員・保護者間での共通理解については、懇談会や保育参加、毎日の送迎時での会話で深めてきました。

③ 食育活動

例年通り給食材料のグループ分け(赤・黄・緑・白)を毎日行いました。また、お米研ぎや野菜の下ごしらえ、ふりかけ作り、きなこ作りなど色々なお手伝いを行いました。通年で衛生的な食事の仕方についても指導を行いました。季節毎の行事の際には、行事に即した伝統的な料理を提供し、お月見会、子ども新年会や豆まき会、ひな祭り会等でその料理や食材について伝えてきました。

地域の皆様にご協力頂きながら、米や野菜(サツマイモ・ジャガイモ・オクラ・ピーマン・ゴーヤ・ヘチマ・プチトマト・キュウリ等)を育てて収穫し、食べる事も行いました。子どもたちは、火、包丁などを扱うことにも慣れてきました。

④ 英会話

本年度も引き続き、亀山在住のイギリス人、アビゲイル・ロイドさん(アビさん)と一緒に英語で遊びました。年長児、年中児、年少児が、英語の歌を歌いながら体を動かしたり、戸外あそびでアビさんと一緒に体を動かしたりして自由に遊び、また、年長児は生活発表会でアビさんと歌った英語の歌を、メドレーにして発表しました。

⑤ 臨床心理士

毎月1度、臨床心理士の鈴木智裕先生より、子どもたちの困っている事やそれに対する関わり方について、助言頂いています。また、希望する保護者に対する面談や小学校への引き継ぎ等も行っています。

(2) 地域の子育てのサポート

① 園庭開放

地域の子育てのサポートとして、園庭解放(なかよしデー)を5月から2月までの間、原則月2回、年間17回行い、未就園児累計113名とその保護者累計93名に保育園を利用いただき、子育て相談に応じました。

② 地域活動

西陵中学校の中学2年生を、3人3日間の職場体験を受け入れ、地域の教育支援を行いました。

久間田地区市民センター主催の生涯学習フェアに年長児が絵を出品しました。

(3) 高花平保育園との交流

① 両園の栄養士が交互に献立を作成しています。両園の園長と栄養士、調理員、保育士が月1回打合せを行い、献立の反省と検討を行いました。

② 両園園長、主任、3歳未満児・3歳以上児リーダーが月1回、保育の取り組みについての情報交換を行いました。

③ 生活発表会をお互いの保育士がお互いの会を参観し、研修活動としました。

(4) 環境の整備

① 園庭遊具

砂場枠修繕しました。

登り棒の入れ替えをします。

丸太橋、滑り台の屋根を研磨し、再塗装しました。

② ランチルーム手洗いが長年にわたり漏水していました。修繕しました。

③ 3歳未満児のおもちゃを充実させました。廃材、布などを利用した保育士の手作りのおもちゃは、温かみがあると考えていましたが、子どもの人数に見合ったおもちゃを作ることが困難となり、安全で衛生的で工夫されたヨーロッパのおもちゃを導入することにしました。3歳以上児と同じように、ゆったりと自分の好きなおもちゃで遊べる空間を作りました。おもちゃの並べ方、遊ぶ場所、片付け方が明確になり、子どもたちのトラブルが少なくなってきました。

(5) 行事

行事は、表 1 のとおり実施しました。また、毎月、避難訓練、お誕生会、発育測定を行いました。

10月末から12月初めにかけて、試食会(保育参観・給食試食・個人懇談)を行いました。

4月	2日	入園式
5月	12日	わくわく広場・懇談会
	29～31日	西稜中職場体験
6月	7日	歯科検診
	13日	集団適応検診
	13日	内科検診
7月	6日	七夕会
	21日	夕涼み会
10月	6日	運動会
	18日	遠足
11月	7日	動物園見学(年長児)
	10日	竹馬教室(年中児)
	16日	指導監査
12月	21日	クリスマス会
1月	11日	子ども新年会
2月	1日	豆まき会
	16日	生活発表会
	28日	おわかれ遠足(年長児)
3月	1日	ひな祭り会
	6日	内科・歯科検診
	20日(予定)	おわかれ会
	23日(予定)	卒園式

表 1

2. 高花平保育園事業報告

(1) 子どもの最善の利益を求める保育を よりよく過ごせるための環境づくり

① 食べる空間の確保

ホールをランチルームとして有効利用しています。子どもたちが、空腹になったことを感じ、食します。好きなお友だちと、好きな場所で、自分の適量を食することは、心をも満足する空間になりました。

保育士サイドには、言葉のかけ方、食事の取らせ方、マナーの伝達など相互に学ぶ場所となり、些細な疑問点もその場で質問でき、解決できる良い空間となりました。

② 遊びの空間の確保

子どもが、好きな遊びを選んで遊べる空間を作りました。安全で衛生的で工夫されたヨーロッパのおもちゃを、子どもの発達、人数に合わせて導入しました。おもちゃの並べ方、遊ぶ場所、片付け方が明確になり、子どもたちが主体的に遊ぶようになりました。

3歳以上児の廊下を利用し、異年齢児の遊び空間を確保しました。絵本コーナー、制作コーナー、パズルコーナーと、好きな遊びを異年齢児で遊ぶ空間です。遊び方の伝承、あこがれ、いたわり、譲り合うなどの気持ちが育まれています。

③ 食育活動

例年通り給食材料のグループ分け(赤・黄・緑・白)を毎日行いました。また、野菜の下ごしらえ、ふりかけ作り、きなこ作りなど色々なお手伝いを行いました。通年で衛生的な食事の仕方についても指導を行いました。季節毎の行事の際には、行事に即した伝統的な料理を提供し、お月見会、子ども新年会や豆まき会、ひな祭り会等でその料理や食材について伝えてきました。

米や野菜(サツマイモ・ジャガイモ・オクラ・ピーマン・ゴーヤ・ヘチマ・プチトマト・キュウリ等)を育てて収穫し、食べる事も行いました。

④ 英会話

本年度も引き続き、亀山在住のイギリス人、アビゲイル・ロイドさん(アビさん)と一緒に英語で遊びました。年長児、年中児が、英語の歌を歌いながら体を動かしたり、戸外あそびでアビさんと一緒に体を動かしたりして自由に遊びました。

⑤ 臨床心理士

毎月1度、臨床心理士の鈴木智裕先生より、子どもたちの困っている事やそれに対する関わり方について、助言頂いています。また、希望する保護者に対する面談や小学校への引き継ぎ等も行っています。

⑥ 職員間での情報共有

子どもに対する理解を職員間で共通とするため、毎日のミーティングや保育中の連絡、ミーティング議事録などを通じて情報共有を行ってきました。職員・保護者間での共通理解については、懇談会や保育参加、毎日の送迎時での会話で深めてきました。

(2) 地域の子育てサポート

- ① 高花平幼稚園との定期的な交流(幼保交流)と高花平地区社会福祉協議会福祉部の交流事業(ふれあい会や高花平小学校 1 年生を含めた合同ふれあい音楽会)等、地域の各団体との交流を行いました。
- ② さくらんぼ会を通して、地区内外の未就園児累計 107 名とその保護者累計 89 名に保育園を利用していただき、子育て相談に応じました。また、一時保育事業に取り組んで今年で 3 年目になります。前半の利用は少なかったものの後半には利用者が増え、3 月 16 日現在で累計 74 名が利用しました。

(3) くまだ保育園との交流

- ① 両園の栄養士が交互に献立を作成しています。両園の園長と栄養士、調理員、保育士が月 1 回打合せを行い、献立の反省と検討を行いました。
- ② 両園園長、主任、3 歳未満児リーダー、3 歳以上児リーダーが月 1 回、保育の取り組みについての情報交換を行いました。
- ③ 生活発表会をお互いの保育士がお互いの会を参観し、研修活動としました。

(4) 環境の整備

- ① うさぎ小屋解体
- ② 園舎と一時保育室をつなぐ渡り廊下増設
- ③ 絵本コーナー増設
- ④ 0, 1 歳児室、2 歳児室の床暖房設置

(5) 行事

行事は下表のとおり実施しました。

毎月、避難訓練、お誕生会、発育測定を行いました。

試食会、保育参加を開催しました。また、保護者懇談会を二度開催しました。

月 日	園単独行事	他団体交流行事
4月 2日	入園式	
5月 12日 17日	親子で遊ぼう会	幼保交流(@幼稚園)
6月 12日 20日 28日 29日	ふれあい会 プラネタリウム見学(5歳児)	幼保交流(@保育園) 幼保交流(@小学校プール)
7月 2日 7日 11日 23日	たなばた会 夏まつり	幼保交流(@小学校プール) 幼保交流(@小学校プール)
9月 5日 19日	おじいちゃんおばあちゃんと遊ぶ会	ふれあい会(地区社協)

	21日	栗ひろい(5歳児)	
10月	13日	運動会	
	15日		消防署防災指導(幼稚園合同)
	17日	秋の遠足	
	27日	竹馬教室(4歳児・きりん組)	
	28日		地区文化祭(地区社協)
11月	7日	動物園見学(5歳児)	
	19日	新入園児面接	
12月	21日	クリスマス会	
1月	8日		ふれあい会(地区社協)
	10日	人形劇(風の子)公演	
2月	1日	豆まき会	
	9日	生活発表会	
	19日		ふれあい音楽会(地区社協)
	27日	お別れ遠足(5歳児)	
3月	1日	ひな祭り会	
	14日	内科・歯科検診	
	14日	新入園児説明会	
	15日	お別れ会	
	23日	卒園式(予定)	

平成31年度久間田福祉社会事業計画

平成31年度も引き続き、子どもの自主性を伸ばし、子供の成長を保障する保育をすることが何より重要だと考え「地域における児童福祉の核になる」ことを目指して努力し続けたいと思います。また、高花平保育園のこども園移行が可能か、四日市市の幼稚園統廃合計画の方向性を注視していきます。

1. くまだ保育園事業計画

(1) 共に育ち合う「共育」を目指した保育を

- ① 生活リズム、挨拶など、基本的な生活習慣を保護者・職員が一緒になって子どもに伝え合い、子育ての中で子ども・保護者・職員の全員が共に育っていけるような園作りを目指して保育していく。
- ② 異年齢での関わりを多く持ち、子ども同士で育ち合うような保育環境を整える。
- ③ 鈴木臨床心理士のアドバイスを参考に、子どもの心理や行動に対する理解を、職員間、また、職員・保護者間で共通のものとして、子どもへの一貫した対応を行い、健やかな育ちを保障していく。
- ④ イギリス人アビゲイル・ロイドさんと一緒に英語で遊び、英語に親しむ。
- ⑤ 食育活動として栄養士とともに、子どもの声に基づいた食育活動に取り組む。

(2) 地域の子育てのサポート

- ① 園庭開放(なかよしデー)を毎月第2、第4水曜日に行い、地域の子育て相談についてもその場で受け付ける。
- ② 一時保育は自主事業として行っていく。

(3) 高花平保育園との交流

- ① 高花平保育園と給食献立を統一し、食育の浸透を図っていく。
- ② 互いの職員が互いの保育現場を見学する研修を企画するなど両施設の職員間の交流を増やしていく。
- ③ 質の高い保育を目指し、保育士集団の質をリーダー会が中心になって進める。

(4) 環境の整備

- ① 園舎設備や遊具の老朽化への対応を行う。

(5) 行事予定

- ① 毎月、避難訓練、お誕生会、発育測定を行う。
- ② 10月、11月は試食会、保育参観、個人懇談を行う。

③ その他行事予定を表に示す。

4月	入園式
5月	わくわく広場・懇談会
6月	歯科検診 内科検診
7月	七夕会 夕涼み会
8月	
9月	
10月	運動会 遠足
11月	東山動物園見学(5歳児) 竹馬教室(4歳児)
12月	クリスマス会
1月	子ども新年会
2月	豆まき会 生活発表会 おわかれ遠足
3月	ひな祭り会 内科検診 歯科検診 お別れ会 卒園式

2. 高花平保育園事業計画

(1) 共に育ちあう「共育」を目指した保育を

- ① 子どもに対する理解を職員、保護者で共通のものとするように努め、子ども・保護者・職員の全員が共に育っていけるような園を目指して保育をしていく。
- ② 異年齢での関りを多く持ち、子ども同士で育ちあうような保育環境を整える。
- ③ 保育士・栄養士・調理士は子供の声に耳を傾け、共同した活動として食育に取り組む。
- ④ イギリス人アビゲイル・ロイドさんと一緒に英語で遊び、英語に親しむ。
- ⑤ 鈴木臨床心理士のアドバイスを参考に、子どもの心理や行動に対する理解を、職員間、また、職員・保護者間で共通のものとして、子どもへの一貫した対応を行い、健やかな育ちを保障していく。

(2) 地域の子育てのサポート

- ① 幼稚園、地区社協、地区自治会との交流は従来通り実施する。
ただし、その在り方関わり方については常に検討を行う。
- ② 園庭開放(さくらんぼ会)は毎月第2、第4木曜日に行う。
- ③ 一時保育事業を、地域に開かれた保育の場として実施する。
- ④ 園庭解放時・一時保育時などに、子育て相談を受け付ける。

(3) くまだ保育園との交流

- ① くまだ保育園と給食献立を統一し、食育の浸透を図っていく。
- ② 互いの職員が互いの保育現場を見学する研修を企画するなど両施設の職員間の交流を増やしていく。共通の研修を企画するなど両施設の職員間の交流を増やしていく。
- ③ 質の高い保育を目指し、保育士集団の質をリーダー会が中心になって進める。

(4) 環境の整備

- ① 木造園舎の適宜修繕・改造を行い、子どもにとって魅力ある空間として行く。

(5) 行事予定

- ① 行事は何のために実施するのかの検討をその都度行う。
- ② 毎月、避難訓練、お誕生会、発育測定を行う。
- ③ 試食会、保育参観、保護者懇談会の開催。
- ④ その他、以下の表に示す。

月	日	園単独行事	他団体交流行事
4月	2日	入園式	
	30日	こどもの日の集い	
5月	11日	親子で遊ぼう会	
	日		幼保交流(@幼稚園)
6月	日	ふれあい会	
	日		幼保交流(@保育園)
	日	プラネタリウム見学(5歳児)	
	日		幼保交流(@小学校プール)
7月	日		幼保交流(@小学校プール)
	5日	たなばた会	
	日		幼保交流(@小学校プール)
	20日	夏まつり	
9月	日	おじいちゃんおばあちゃんと遊ぶ会	
	日		ふれあい会(地区社協)
	日	栗ひろい(5歳児)	
10月	12日	運動会	
	日		消防署防災指導(幼稚園合同)
	日	秋の遠足	
	26日	竹馬教室(4歳児・きりん組)	
	日		地区文化祭(地区社協)
11月	日	動物園見学(5歳児)	
	日	新入園児面接	
12月	24日	クリスマス会	
1月	日		ふれあい会(地区社協)
	日	人形劇(風の子)公演	
2月	3日	豆まき会	
	8日	生活発表会	
	日		ふれあい音楽会(地区社協)
	日	お別れ遠足(5歳児)	
3月	3日	ひな祭り会	
	日	内科・歯科検診	
	日	新入園児説明会	
	日	お別れ会	
	21日	卒園式	